

事務連絡
平成 25 年 4 月 3 日

がん診療連携拠点病院長 様

全国がん(成人病)センター協議会
第 23 回がん臨床研究フォーラム
実行委員長 上池 涉
(国立病院機構呉医療センター
・中国がんセンター院長)

第 23 回がん臨床研究フォーラムの開催について

全国がん(成人病)センター協議会および当院の運営につきましては、平素より格別の御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会では、各施設におけるがんの臨床研究の成果を発表する場として、本年も標記フォーラムを下記のとおり開催いたしますので、御出席いただきますとともに、併せて関係機関に周知していただきますようお願いいたします。

記

1. 開催日時
平成 25 年 6 月 14 日 (金) 9:00~16:00
2. メイン会場
国際研究交流会館 国際会議場 (東京都中央区築地 5-1-1 国立がん研究センター内)
※別紙全国 17 施設 (がん診療情報ネットワークシステム参加施設) の中継会場でもフォーラムに参加できます。
3. プログラム (別紙のとおり)
主題 1: 「高齢者のがん医療」
主題 2: 「緩和ケア」
4. 申込方法
別紙申込書に、参加者氏名・希望会場に○をつけ参加人数を記入のうえ、お申し込みください。
5. 申込先
国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 管理課 (担当者: 山崎)
FAX: 0823-21-0478
E-mail: yamasakit@kure-nh.go.jp
6. 申込締切
平成 25 年 4 月 30 日 (火)
※各会場へは締切後、早期に申込者リストを送付させていただきます。
7. その他
プログラム・抄録集につきましては、5 月中旬に発送を予定しております。

< 連絡先 >

事務局
国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター
担当 管理課 山崎
TEL:0823-22-3111/FAX: 0823-21-0478
E-mail yamasakit@kure-nh.go.jp

送信先：国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 管理課 山崎あて
 FAX：0823-21-0478

施設名	
担当者名	
電話番号	

第23回がん臨床研究フォーラム参加申込書

1. 参加希望者

部署	氏名

2. 希望会場

希望する会場番号に○をつけ、人数を御記入ください。

※ 本会場、中継会場とも収容人数が限られておりますので、申込み多数の場合は調整させていただきますことあります。その場合は5月10日までにご連絡いたします。

○ 本会場

番号	会場名	人数
1	国際研究交流会館 国際会議場 (国立がん研究センター内)	

※定員190人

○ テレビ中継会場 (予定)

番号	会場名	人数
2	北海道がんセンター	
3	青森県立中央病院	
4	宮城県立がんセンター	
5	山形県立中央病院	
6	茨城県立中央病院	
7	群馬県立がんセンター	
8	千葉県がんセンター	
9	国立がん研究センター東病院	
10	埼玉県立がんセンター	
11	新潟県立がんセンター新潟病院	
12	静岡県立静岡がんセンター	
13	名古屋医療センター	
14	大阪府立成人病センター	
15	呉医療センター・中国がんセンター	
16	四国がんセンター	
17	九州がんセンター	
18	大分県立病院	

第23回がん臨床研究フォーラムプログラム

平成25年6月14日(金)

於：国立がん研究センター内国際研究交流会館

<開会の辞> (9:00~9:10)

- ・ 全国がん(成人病)センター協議会会長
(国立がん研究センター理事長) 堀田 知光
- ・ 第23回がん臨床研究フォーラム実行委員長
(国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター院長) 上池 渉

<午前の部>シンポジウム (9:10~12:00)

主題：高齢者のがん医療

現在、日本ではがん患者、高齢者ともに増加しつつある。つまり高齢者のがん患者は今後さらに増加することが予想され、高齢者がんに対する医療はますます重要なものになると考えられる。

高齢者は主要臓器の機能が低下しているという身体面、不安やうつ傾向が強い精神面、さらに家族、収入など社会的基盤が弱いことが多いなどの特性を持っている。従って高齢者のがん医療においては若年者の医療をそのまま画一的に適用できないことも多い。今回はさまざまな分野から、高齢者のがん医療の特徴、問題点について論じていただく。

座長：国立病院機構呉医療センター中国がんセンター 外科医長 畑中 信良
国立がん研究センター 東病院 呼吸器内科医長 仁保 誠治

(演題はいずれも仮)

【9:10~9:40】(講演25分、質疑5分)

1 高齢者がんの疫学

国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計研究部部長 西本 寛

【9:40~10:10】(講演25分、質疑5分)

2 高齢者がんに対する化学療法

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科医長 仁保 誠治

【10:10~10:40】(講演25分、質疑5分)

3 高齢者に対する外科治療

国立長寿医療センター 外科、周術期診療部長 深田 伸二

【10:40~11:10】(講演25分、質疑5分)

4 高齢者がん患者の看護

国立がんセンター中央病院看護師 がん看護専門看護師 清水 陽一

【11:10~11:40】(講演25分、質疑5分)

5 高齢者がん患者に対する放射線治療

北海道がんセンター 院長 西尾 正道

【11:40~12:00】

総合討論

<昼食休憩> (12:00~13:00)

<午後の部>ワークショップ (13:00~15:50)

主題：緩和ケア

がん対策推進基本計画の重点課題に「治療の初期からの緩和ケアの実施」が掲げられていたが、「迅速かつ適切な緩和ケアががん診療の中でまだ十分に提供されていない」と平成24年度の基本計画で述べている。新しい基本計画の取り組むべき施策の中で、「全人的なケアを診断時から提供できるように診療体制を整備する」、「精神腫瘍医をはじめ専門職の適正配置を図り、緩和ケアチームの診療機能の向上を図る」、「在宅緩和ケアを提供できる診療所などと連携する」と掲げられた。今後の緩和ケアの推進のための取り組みや成果について報告する。

座長：国立がん研究センター東病院 緩和医療科科長 木下 寛也
国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケア科科長 砂田 祥司

(演題はいずれも仮)

【13:00~13:45】(講演 40分、質疑 5分)

- 1 (仮演題) 緩和ケアの現状・目指すべきもの(総論)、緩和ケア病棟
国立がん研究センター東病院 緩和医療科科長 木下 寛也

【13:45~14:20】(講演 30分、質疑 5分)

- 2 (仮演題) 緩和ケアチーム
兵庫県立がんセンター 緩和ケア内科部長 池垣 淳一

【14:20~14:55】(講演 30分、質疑 5分)

- 3 (仮演題) 在宅連携
千葉県がんセンター 緩和医療科部長 渡邊 敏

【14:55~15:30】(講演 30分、質疑 5分)

- 4 (仮演題) 精神腫瘍学(精神科の立場から)
国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科科長 清水 研

【15:30~15:50】

まとめ

<閉会の辞>

国立病院機構呉医療センター中国がんセンター 外科系診療部長 吉川 幸伸